

十一月二三日 日曜日

十時半研究室。今日のレクチャーの準備。十二時高山さん夫妻来室。十三時「家」レクチャー。参加者子供達を含めて十八名。課題を見てクリティーク。千村君のおにいさんにお目にかかる。レクチャー後、ボスニア・ヘルツェゴビナの三好シユターク綾さんの相談を受ける。十七時半終了。十八時半世田谷村。

十一月二四日 休日

朝六時半起床。今日は連休らしい。細々とこの世田谷村日記を書き続けて解った事が幾つもあるが、一つはメモを続けていると次第にどうしても内省的になってゆき、瞬発力が出現する回数が増少してしまうのではないかと不安になる。要するに下らぬ思いつきが妄想との類との親密度が薄れてくるきらいがある。何年も続けているとそれが解る。コンピューターに記録しているから勿論他人の眼も意識せざるを得ない。それも、妄想類の減少の因かな。

七時半安藤世田谷村。千葉の現場へ同行。九時過高橋さん夫妻娘さんと待ち合わせの貝塚インターチェンジ近くのセブンイレブオン着。十時高橋さん一家と会う。土地見学。予想以上に良い場所だった。二案程頭の中で作り上げる。その後高橋さんの奥さんの実家へ。お父さん、お母さんに会う。お父さんは普請が大好きらしく、木の事に詳しい。色々とアドバイスしていただく事とする。

幸いお父さん手持ちの木材を使わせていただく事となる。三〇〇年の歴史を持つ農家で、やっぱりこうゆう老人は風格がある。野菜やら、何やら一杯のおみやげをいただく。

遅い昼食を、ソバ屋で頂き、打合せ。十六時前別れる。高速道路が空いていて、十七時過には世田谷に戻る。世田谷には妻が衝動買いしたウサギが突然家族の一員として加わっていた。流石に横になってしばし休む。夜雄大の友人の慶應生、スワ君来る。話してみた面白かった。流されずによく考えている若者もいるんだな。

十一月二五日

十時研究室。板橋の松崎さん来室。十二時迄やり取り。大中小を問わず、設計を始める前のネゴシエーションは難しい。どんな仕事でも信頼されれば、必要以上の努力をするし、信頼度が低ければ多少力が抜けるのはやむを得ない。のだが、それを上手に伝える事は困難である。倉庫の基本プラン送付。